

廃棄物処理施設における放射能測定結果【H30年11月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、放射能濃度測定を実施しました。測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位：主灰・飛灰・不燃物・脱水汚泥【Bq/kg】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	セシウム 合計値
一関清掃センター ごみ焼却施設	主灰	H30年11月27日	ND	43	43
	飛灰	H30年11月27日	46	500	546
大東清掃センター ごみ焼却施設	不燃物等	H30年11月7日	17	190	207
		H30年11月14日	ND	140	140
		H30年11月20日	15	200	215
		H30年11月27日	12	210	222
	飛灰	H30年11月7日	42	490	532
		H30年11月14日	66	790	856
		H30年11月20日	57	650	707
		H30年11月27日	36	400	436
一関清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	H30年11月21日	ND	ND	10/10
川崎清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	H30年11月6日	ND	ND	10/10

・一関清掃センター、川崎清掃センターの脱水汚泥は年4回測定します。

測定値の単位:【Bq/L】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
舞川清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年11月20日	ND	ND	10/10
	上流井戸	H 30年11月20日	ND	ND	1/1
	下流井戸	H 30年11月20日	ND	ND	1/1
東山清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年11月15日	ND	ND	10/10
	上流井戸	H 30年11月15日	ND	ND	1/1
	下流井戸	H 30年11月15日	ND	ND	1/1

- ・「不検出」とは、検出下限値未満であることを示します。
- ・飛灰とは、排ガス中に同伴されているチリ(ばいじんダスト)をバグフィルターなどの集塵装置で捕集した固形物です。

測定値の単位:排ガス【Bq/m<sup>3</sup>(N)】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
一関清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H 30年11月29日	ND	ND	0.42/0.48
	1号炉(ドレン部)		ND	ND	1.1/0.97
	2号炉(ろ紙部)	H 30年11月28日	ND	ND	0.39/0.45
	2号炉(ドレン部)		ND	ND	1.2/1.1
大東清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H 30年11月7日	ND	ND	0.14/0.12
	1号炉(ドレン部)		ND	ND	0.33/0.47
	2号炉(ろ紙部)	H 30年11月14日	ND	ND	0.14/0.12
	2号炉(ドレン部)		ND	ND	0.42/0.34
	2号炉(ろ紙部)	H 30年11月21日	ND	ND	0.15/0.13
	2号炉(ドレン部)		ND	ND	0.47/0.44

廃棄物処理施設における空間線量率測定結果【H30年11月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、空間線量率測定を実施しました。  
測定結果は、以下のとおりです。

施設名	測定場所	測定月日	測定値(地上1m)	備考
一関清掃センター	施設内8地点	H30年11月1日～ H30年11月29日	0.06～0.07	施設敷地境界 及びバググラウンド
大東清掃センター	施設内4地点	H30年11月6日～ H30年11月27日	0.06～0.08	施設敷地境界
舞川清掃センター	施設内7地点	H30年11月1日～ H30年11月29日	0.05～0.08	仮置き場と敷地 境界及びゲート ボール場
東山清掃センター	施設内5地点	H30年11月6日～ H30年11月27日	0.04～0.07	施設敷地境界 及び埋立場所

- ・測定値は、測定地点ごとに30秒間隔で5回測定した平均をとり、その最小値から最大値をまとめたものです。
- ・空間線量率測定は、1週間に1回の測定です。
- ・一関清掃センターと舞川清掃センターでは、H24年9月測定分からエネルギー補償機能付きの放射能測定器を使用しているため数値が以前と比べて低くなりました。